

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和8（2026）年度みよし市食育推進会議		
開催日時	書面開催		
開催場所			
出席者	【委員】海野弘子委員、水野裕己委員、福岡幸枝委員、近藤進委員、伊藤恵委員、野村淳司委員、玉城裕子委員、大成康臣委員、林晴子委員、青木要介委員、篠原成美委員、鈴木こはる委員、正道範男委員、八幡美保委員、兼平奈奈委員、鈴木聡子委員 【助言者】田端美智恵助言者、戸田輝子助言者、金山明子助言者、野々山紘美助言者 【事務局】酒井産業振興課副主幹、加藤産業振興課主事 ※委員及び助言者に意見聴取を行った。		
次回開催予定日	令和9（2027）年6月頃		
問合せ先	市民経済部産業振興課 酒井・加藤 電話 0561-32-8015（直通） メール sangyo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	【議題】 1 令和8（2026）年度食育推進会議委員について 2 みよし市の食育推進に関する取り組みについて 3 意見書 【結果】 別紙のとおり意見が提出された。		

令和 8（2026）年度みよし市食育推進会議意見書取りまとめ

●提出された意見（7 名分）

- ・小中学生も給食があることから、バランスの良い食事がとれているのではないかな。
- ・ 今後は＜40代、50代＞ 更年期等、体調が変わる時期
＜50代、60代＞ 家族構成が変わり、夫婦 2 人だけの食事になる時期
＜70代、80代～＞ 食事作りが大変になってくる時期
などを対策にした食育推進事業を増やして欲しい。
- ・ 定年後の男性が自分の昼食を作れる、メニュー立てができるようになるとうい。
- ・ 子どもの時から、食事は楽しく、自分で自分の食事を作れるようにすることが、一生の健康の為には大切なのでは。
- ・ 幼児や小学生に対して、食事作法などを学ぶ機会があるとよい。
- ・ フードロスなど、食べ物を大切にする学びも必要。
- ・ 他施設の取組を知ることで、それぞれの実践を参考にしながら、よりよい食育につながっていくことを期待している。
- ・ 取組が、より多くの市民へ届くような情報発信が進むとよい。
- ・ 子どもの食育活動が中心である。社会的フレイルの予防にもつながるため、40才以降にも「人づくり」に関連する活動を増やしていけるとよいのでは。
- ・ 小学 6 年生以降の「痩せの傾向」という課題を解決に導くような支援計画について教えてほしい。
「思春期」の子どもへの活動に難しさを予想するが、将来の健康に関わる時期であるため、適切な体型維持や食事摂取を啓発できる計画を期待している。
- ・ アンケートの分析結果を、他自治体と共有したり、学会等に積極的に発信してはどうか。
- ・ 食育に関する取り組みを継続することで、子どもたちが食べたものが自分の体になることを意識し、バランスの良い食事を自分で選べる子に育つよう願っている。
- ・ 親子で一緒に学べる機会があると嬉しい。
- ・ 「今後の事業の方向性」について、拡大が 3 事業、その他は継続と記載されているが、令和 7 (2025) 年度に新規事業として開始された取組があったのか、また令和 8 (2026) 年度に新規事業を計画されているのかが、報告書からは読み取りにくい。
- ・ 中高年者や高齢者を対象とした健康づくり、フレイル予防、生活習慣病予防等の重要性も高まっているため、これらの世代を対象とした食育推進事業についても充実するとよい。
- ・ 類似した目的や対象者を持つ事業が見受けられるため、事業の整理・統合や体系化についても検討の余地があるのでは。
- ・ 「こどもたちの朝ごはん喫食状況の聞き取り調査」令和 8 年度計画 小中学生
→全国学力状況調査のほかに、毎年 1 1 月に愛知県教育委員会による調査が小学校 5 年生及び中学校 2 年生を対象に実勢されます（抽出校）。
※小学校では毎年 2 ～ 6 年生対象に年に 2 回実施しています。